

平成28年度地方創生拠点整備交付金活用事業 「旧石川組製糸西洋館保存活用整備事業」の概略

1 事業の目標

- 入間市の近代史を象徴する歴史的遺産である「旧石川組製糸西洋館」を改修し、貴重な地域資源として整備することで、地域の歴史を知る場や観光スポットとして市の魅力を発信するとともに、シティセールスの拠点として多様な活用を図る。
- 収益性のある施設として活用していくことで、建物の維持管理に必要な財源確保を図る。
- 将来的には他市町村や周辺の観光スポットとの連携、市民との協働事業の実施等、西洋館の特色を生かした事業を通して、市の活性化につなげる。

2 実施事業

(1) 施設整備

【本館改修工事】

魅力ある建物を将来にわたり維持していくために必要な屋根等の外部改修とともに、破損や汚れが目立つ内部空間を改修することで、ギャラリーやドラマ・CM・映画等の撮影の貸出により収益の向上を図る。また、喫茶室を整備することで、新たな来館者、施設利用者の誘致が可能となり、いま以上に人々を惹きつける施設とする。

【別館改修工事】

男女別トイレの設置、喫茶室の実施に必要な多目的キッチンを整備することで、来館者や施設利用者の利便性を高める。

(2) 効果促進事業

【西洋館魅力アップ事業】

大正時代の雰囲気の色濃く残す館内を生かして、コンサートや展示会、西洋館や入間市の歴史・文化に関する講座や講演会を定期的を開催することで、西洋館の魅力を発信し、併せてシティセールスにつなげていく。なお、定期的にイベントを実施していく上で、机やイス等の備品や収納スペースが不足しており、また来館者の安全面を確保する上で車止め等も必要であることから、これらの整備を行っていく。

【入間の近代史散策コース整備事業】

西洋館周辺には、西洋館だけでなく、旧黒須銀行等の市の近代史を象徴する文化財等が点在している。西洋館を中心に、ガイドマップやQRコードを利用することで、それらを有機的に結び付けた散策コースを整備することで、地域の歴史を再認識するとともに、市の魅力アップを図っていく。

3 予算規模

総事業費 99,185 千円。うち交付金充当額 49,592 千円（2分の1 補助）

4 実施時期

平成29年2月24日～平成30年3月31日

5 重要業績評価指標（KPI）

(1) 目標値

KPI①：施設使用料等の収入額（千円）

KPI②：市外からの来館者数(人)

KPI③：施設貸出日数（日）

	事業開始前	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	KPI 増加 分の累計
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
KPI①	2,963千円	737千円	-3,000千円	3,200千円	550千円	550千円	2,037千円
KPI②	1,100人	0人	-800人	4,600人	700人	700人	5,200人
KPI③	23日	5日	-23日	25日	5日	5日	17日

※ 1年目から5年目までの各KPIは各年度の増加分を表す。2年目が負数になっているのは、一年のほとんどが改修工事期間のため。

(2) 平成28年度の各KPI実績値

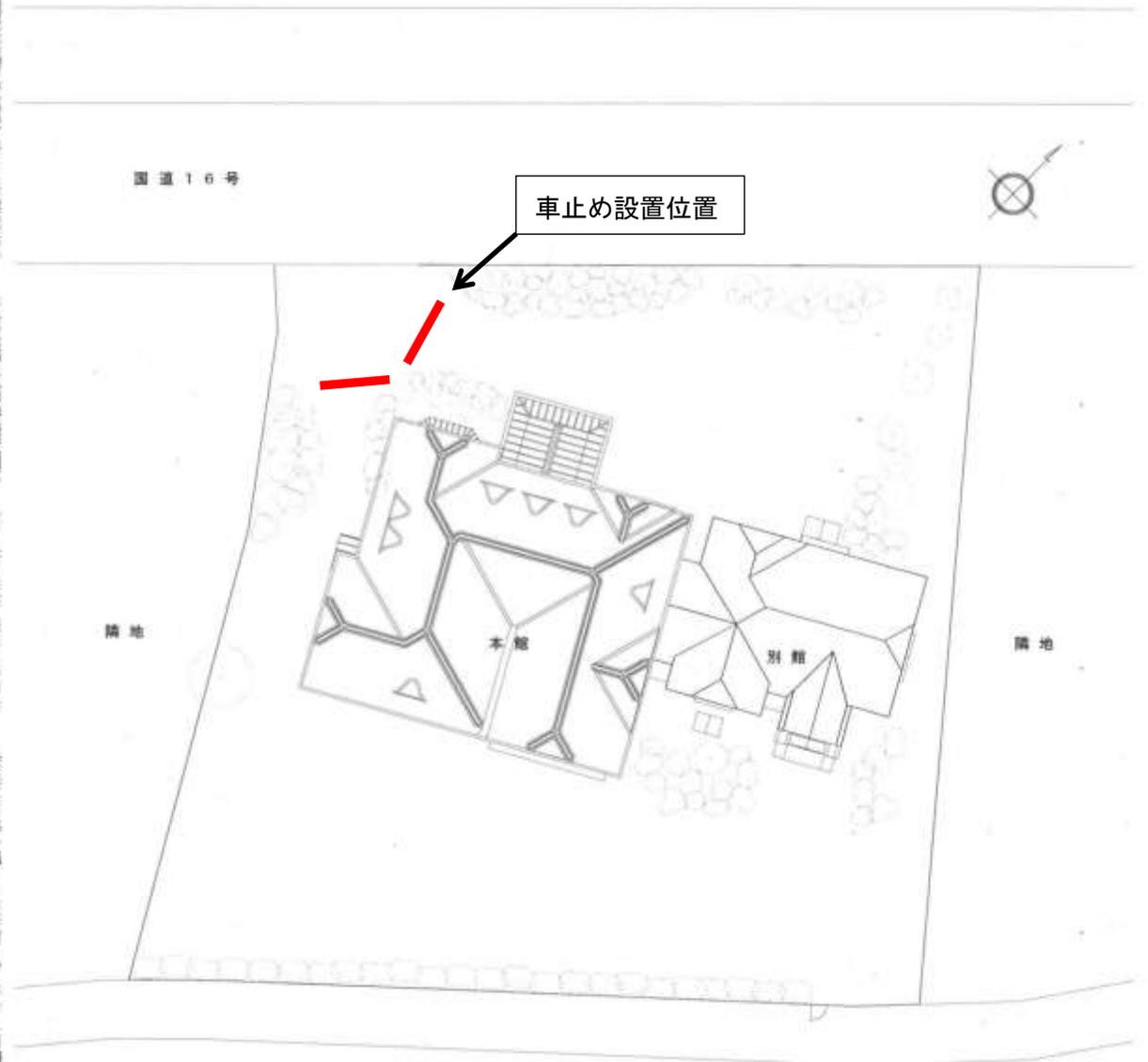
KPI①：1,069千円 KPI②：50人 KPI③：8日

施設の位置図

旧石川組製糸西洋館 案内図・配置図



国土交通省国土院 地理院地図 (www.gsi.go.jp) より



西洋館 (登録有形文化財 旧石川組製糸西洋館本館・別館)
所在地: 埼玉県入間市河原町13番13号

縮尺 1/10000・1/300

施設の図面

○旧石川組製系西洋館本館改修工事概要

・工事内容

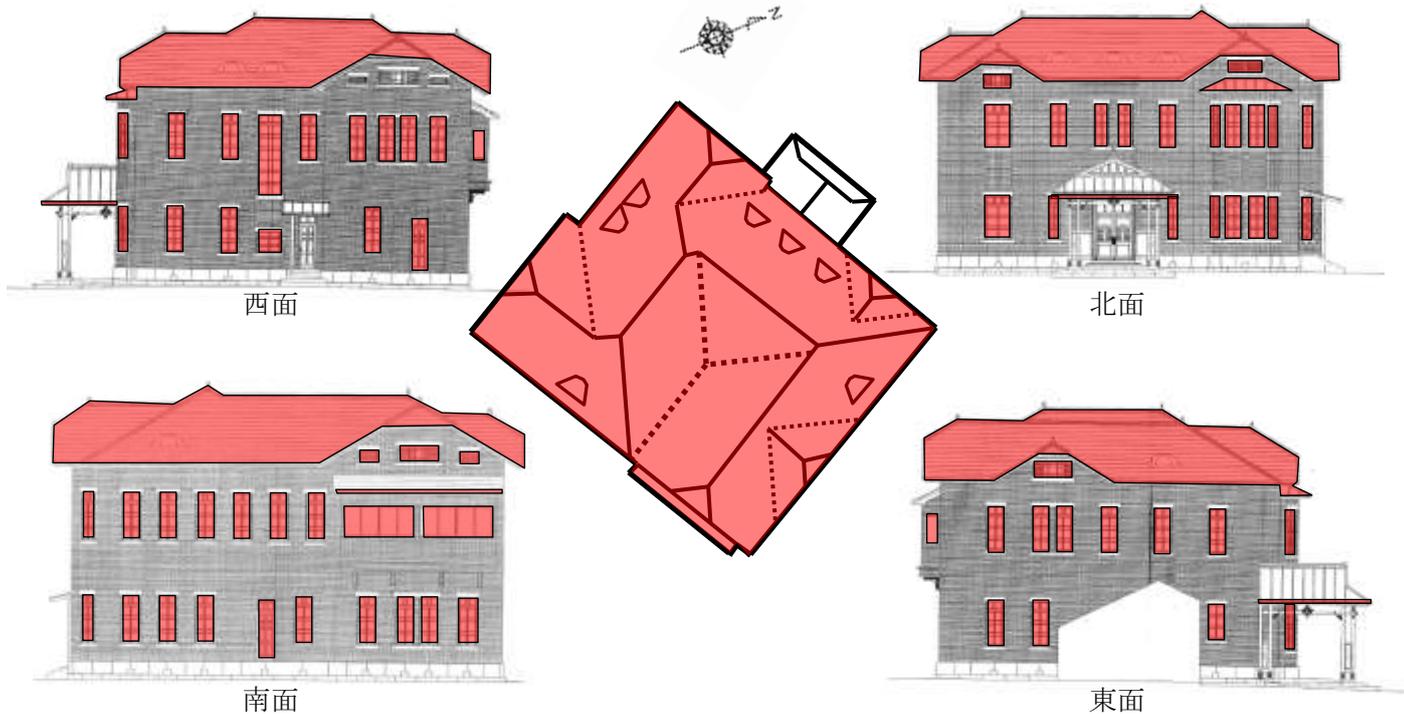
外部改修 本館屋根修繕、軒樋・豎樋水切り修繕、外部開口部（窓枠廻り等）防水処理
 内部改修 浴室（天井）、バルコニー（天井・壁）、2階廊下・裏階段室（天井・壁）
 1階廊下（天井）修繕



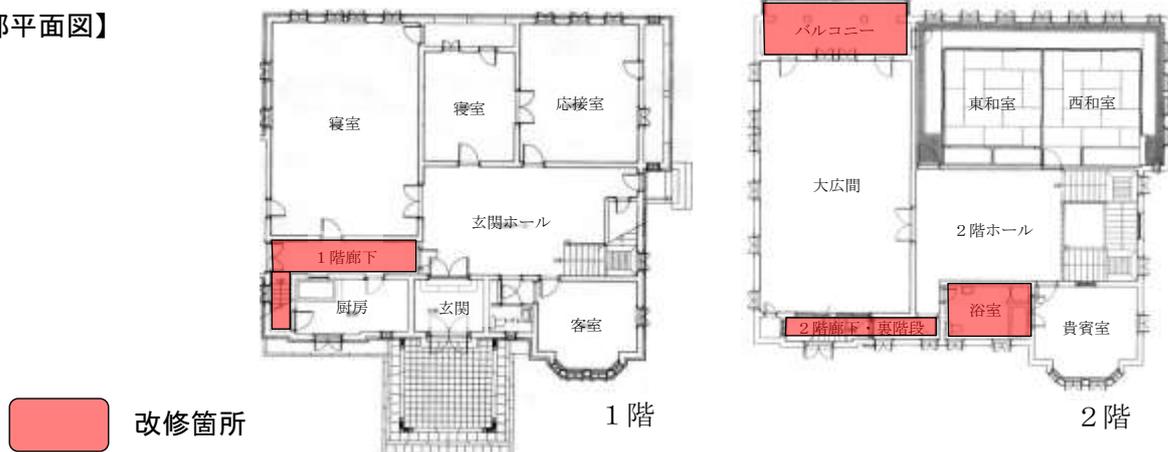
【現況写真】

左：本館外観 中：裏階段天井 右：正面側雨樋

【外部平面図・立面図】



【内部平面図】



改修箇所

施設の図面

○旧石川組製系西洋館別館改修工事概要

・工事内容（改修後の用途）

内部改装 ①浴室・和室六畳（男女トイレ）、②洗濯室（本・別館を結ぶ通路）

③キッチン（多目的キッチン）、④南寝室（事務室・控え室）

電気設備工事【②～④】、空調換気設備工事・給排水設備改修工事【①、③、④】



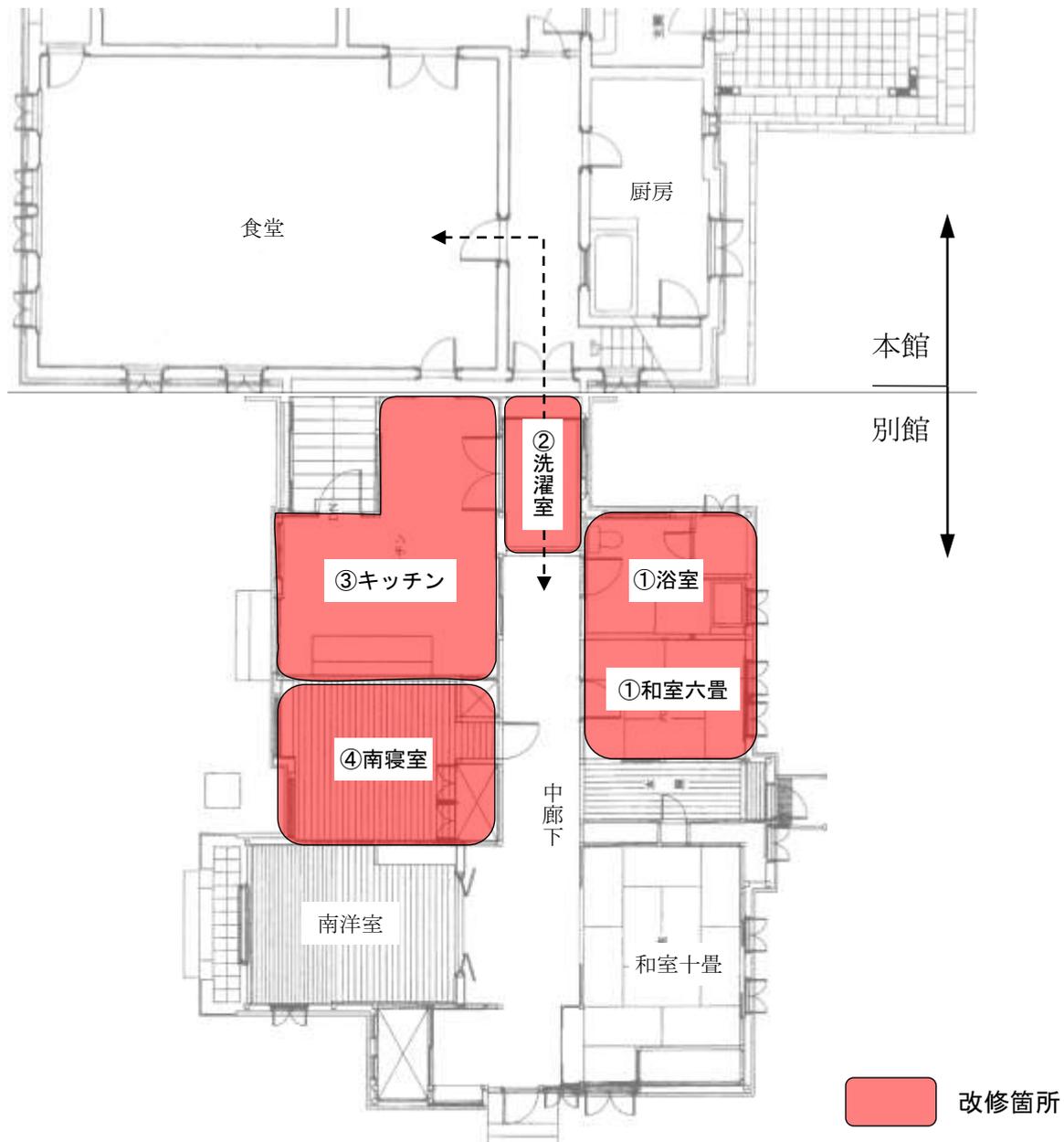
【現況写真】

左：西洋館別館外観

中：キッチン

右：浴室

【別館平面図】



西洋館本館屋根及び別館等内部改修工事 進捗状況写真



足場架設状況



屋根修繕作業



屋根小屋組腐朽状況



屋根小屋組繕状況



屋根板腐朽状況



屋根板修繕状況



本館1階廊下天井
左:修繕前
右:修繕後

これからの 西洋館 (since 2018)

魅力アップ事業

自主事業

文化財講演会、見学会、コンサート・展覧会など
館内での湯茶の提供(有償)

共催事業

コンサート、展覧会、音楽鑑賞会、講座、見学会
朗読会、旅行会社企画事業、ファッションショー
写真撮影会、自主映画撮影など

西洋館の雰囲気を生かした事業。他団体との共催により積極的な事業展開を図る。

一般公開

公開日数は年50回ほど

※3~11月の第2・4土・日曜を中心
来館者は年3,000~3,500人
入館料収入 年60~70万円

※西洋館の特定財源としていく。

パート職員の配置により公開日を増やす。来館者に維持管理費の一部を負担してもらう。

撮影等貸出

ドラマ・CM・映画などの撮影
年延べ30日ほど

使用料収入 年600万円

※西洋館の特定財源としていく。

西洋館ならではの活用。撮影会社に協力してもらい、西洋館の保存に必要な経費の確保につなげる。

効果

- ・見学の機会を増やすことで、大勢の人に「入間市」のこと、「西洋館」「石川組製糸」のことを知ってもらうことができる。
- ・各種事業を充実させることで、西洋館の存在やその魅力をPRするとともに、地域の活性化につなげることができる。
- ・財源を確保することで、日常的な維持管理、修繕等に対応することができ、建物の適切な保存を図っていくことができる。

“入間市の宝”として
西洋館を後世へ
伝えることができる。

西洋館魅力アップ事業（案）

※記載例：事業内容（共催候補）

1 自主事業

(1) 講演会

石川組製糸に係る講座：染井佳夫氏による西洋館講座等

西洋館に関する講座：増田彰久氏による写真での各地西洋館紹介

内田青蔵氏による建造物としての代表的西洋館の講座

田辺千代氏による日本のステンドグラスの講座

(2) 見学会（文化財めぐり）

(3) コンサート（団体、個人へ依頼）

(4) 撮影会とその写真展：西洋館を題材にした撮影会とその写真展

(5) 紙芝居、人形劇：紙芝居＝石川幾太郎、人形劇＝天の園

(6) お茶等の講座（日本茶インストラクター協会、日本紅茶協会など）

2 共催事業【市等行政機関等】

(1) 読み聞かせ事業（図書館）

(2) 講座（図書館：石川一族の中の文学者について・石川信夫・石川譲二、 石川組を舞台にした小説＝大地の園・天の園について、環境課）

(3) 劇（NPO法人入間市文化創造ネットワーク）

(4) 見学会（市広報課など）

(5) ファッションショー（野田双子織研究会）

(6) その他の事業（市観光協会・商工観光課・博物館ボランティア会）

3 共催事業【民間団体】

(1) 美術展（入間市美術協会）

(2) 写真展（入間市写真連盟）

(3) コンサート（市民吹奏楽団、入間市管弦楽団、市民合唱連盟、入間市混声合唱団、 入間市音楽家協会）

(4) 書道展（書道人連盟）

(5) 華道展（入間市華道連盟）

(6) レコード鑑賞会（グリーンティージャズフェスティバルなど）

(7) 講座や文化財めぐり（石川家の人々を読む会、入間市の文化遺産をいかす会、 文化財研究同好会など）

(8) 見学会（旅行会社など）

(9) 写真撮影会（コスプレイベントをする団体など）

(10) 自主映画の撮影（映画制作者など）

(11) その他の事業（いるまミュージアムパートナーズなど）